

# 水鳥工業 DRILL DESIGN × MINOTORI two piece トンネル

部屋に畳が少なくなった  
現在、家の中でもスリッパ  
が必要品になっている。ス  
リッパを履くのがあまり好  
きでなかつた筆者も、夏は  
裸足で歩くのがはばから  
れ、冬は寒いために仕方な  
く、スリッパを履いて生活してい  
る。

それが快適だと  
は思つていなかつ  
たけれど、特に不快という  
こともなく、何となくその  
時その時に気に入ったスリ  
ッパを履いていた。ところ  
が、室内履き用に作られた  
下駄「DRILL DES  
IGN × MIZUTORI



## オトコ小物の 名品



ヒノキ製のソール部分の  
肌触りは、「床を歩いてい  
る」という感触を足に伝え  
てくれる。そのうえで、足  
分の2つに分かれていて、  
それを伸縮性のある素材で  
つないだ構造により、歩く  
ときに下駄がスムーズに

は思つていなかつ  
たけれど、特に不快という  
こともなく、何となくその  
時その時に気に入ったスリ  
ッパを履いていた。ところ  
が、室内履き用に作られた  
下駄「DRILL DES  
IGN × MIZUTORI

ヒノキのソール部分が前後  
2つに分かれていて、伸縮  
素材でつながれているの  
で、つま先立ちにも対応。  
裏はソフトな素材が貼られ  
ていて床を傷つけない

足の動きについてくる。そ  
の伸縮材が滑り止めのよう  
にもなつて、下駄から足が  
滑り落ちることもない。  
そして、とにかく軽いの  
だ。靴下のまま履いても、  
蒸れないし気持ちよいが、  
裸足で履くと、よりいつも  
足にフィットする。スリ  
ッパのような違和感もなく、  
家中をスイスイと歩き回れる。  
歩くのがちょっと楽くなつてしまい、必  
要もないのにウロウロ  
してしまうほどだ。

この下駄を作ったのは、  
工業と、文具から家具まで  
幅広くデザインを手掛ける  
ドリルデザイン。伝統の技  
術と、現代の生活にフィッ  
トするデザインが組むと、  
こんなに快適な室内履きが  
できるのだ。これは、本当  
に気持ちいい。

# 家中で履くための下駄はスリッパより気持ちがいい

(ライター・納富廉邦)



ヒノキのソール部分が前後  
2つに分かれていて、伸縮  
素材でつながれているの  
で、つま先立ちにも対応。  
裏はソフトな素材が貼られ  
ていて床を傷つけない